

報道関係者の皆様へ



雲南市

## Press Release

情報提供

令和6年5月29日(水)

担当課 (担当者)	市民環境部環境政策課 (松蔭佳子)
電話	0854-40-1033
FAX	0854-40-1039

送付文書 本状のみ 2枚

### 6/10(月)共創による「脱炭素・再生可能エネルギーの推進」に関する 連携協定の締結について

本件のポイント：雲南市の再生可能エネルギーの推進を図るため、必要な知見を有する事業者の協力を得ながら、市民や市内事業者等との共創プロセスを通じ事業構想等のあるべき姿をとりまとめるもの。

#### 内容

雲南市では、令和4年6月に雲南市脱炭素宣言を表明し、この宣言を実行・実現していくため「雲南市脱炭素社会実現計画」を策定しました。本計画に基づき、再生可能エネルギーの推進を図るため、必要な知見を有する事業者の協力を得ながら、市民や市内事業者等との共創プロセスを通じ事業構想等のあるべき姿をとりまとめる目的で、下記のとおり連携協定を締結します。

#### 【協定の概要】

- ① 事業構想、事業スキームのあるべき姿の取りまとめに関すること
- ② 市民や域内企業等との共創プロセス推進に関すること
- ③ その他再生可能エネルギーの推進に必要と認められる事項

#### 【締結者・出席者】

株式会社シグマクス

代表取締役社長

おおた ひろし  
太田 寛氏

株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー

代表取締役副社長

まつだ ひでひと  
松田 秀史氏

株式会社リクロスエクスパンション

代表取締役

なかじま たかふみ  
中嶋 崇史氏

特定非営利活動法人おっちらボ

代表理事

おまたけんざぶろう  
小俣健三郎氏

雲南市長 石飛厚志

#### 【調印式概要】

日付：令和6年6月10日(月) 13:30~14:30 (予定)

場所：雲南市役所 2階会議室(201・202)

内容：・開会

- ・市長挨拶
- ・概要説明
- ・協定締結
- ・締結者より挨拶
- ・記念撮影



## 【提携先の概要】

### 1) 株式会社シグマクス(東京都港区)

事業構想提案、事業開発、デジタル先端技術、SaaS/クラウド、プロジェクトマネジメント等、多様な能力を擁したプロフェッショナルが、企業や組織の課題解決と新価値の創造を通じ、新たな産業の共創にも取り組むコンサルティング会社。多数の脱炭素経営の支援実績を持ち、令和5年度の雲南市再生可能エネルギーと電力小売事業によるエネルギー高度化調査・検討業務の受託事業者。

### 2) 株式会社エヌ・ティ・ティ エムイー(東京都新宿区)

NTT グループで地域通信事業を担う東日本電信電話株式会社が 100 パーセント出資している総合エンジニアリング企業。自治体との連携実績もあり、環境省の脱炭素先行地域\*でも積極的に自治体支援を行われている。

現在、東北地方における自治体において、環境省の脱炭素先行地域の選定に向け、全面的に支援されている。地域の通信インフラを支えてきた立場から、エネルギーの地産地消で地域を元気にしたい、エネルギーインフラも持続可能にしたい、課題を解決してまちづくりに貢献したい、との思いから取り組まれており、雲南市脱炭素社会実現アドバイザーの前田雄大さんが東北地方での脱炭素アドバイザーにも就任されており、雲南市と相性が良いのではないかと紹介いただいたもの。

※脱炭素先行地域とは:2030 年度までに区域内の民生部門(家庭部門及び業務その他部門)の CO2 排出実質ゼロを実現するため、環境省が募集・指定するもの。これまでに4回の募集が行われ、合計 74 地域が選定されている。

### 3) 株式会社リクロスエクスパンション(東京都新宿区)

代表取締役の中嶋崇史さんが早稲田大学環境総合研究センター客員次席研究員の経験を活かし、2014年4月に設立。エネルギー・リサイクル分野のコンサルティング事業や付随する IT システム事業を行い、2018年には球磨村との連携協定に基づき地域新電力会社として株式会社球磨村森電力(熊本県球磨村)を設立。2022年には環境省「脱炭素先行地域\*(第1回)」に選定される。また、2023年には熊本県あさぎり町において(株)あさぎりエネジーを設立し、環境省「脱炭素先行地域(第3回)」に選定される。さらに、2023年に熊本県五木村において(株)五木源電力を設立し、脱炭素先行地域で得られた知見の横展開を進めている。複数の地域と連携し、地域脱炭素を進めるとともに、様々な地域貢献や域外交流人口の増加にも貢献するなど、地域へ裨益する取り組みを実践されている。こうした取り組みが評価され、代表取締役の中嶋崇史さんは、環境省の脱炭素まちづくりアドバイザーに就任されている。

### 4) NPO 法人おっちラボ(雲南市)

「幸雲南塾」等、地域課題を解決したい若者の伴走支援を行われている。令和5年12月に雲南市主催で開催した「脱炭素フォーラム~いっしょに考えよう!地産地消エネルギー~」への参加をきっかけに、週に1回程度、市民との勉強会を実施。現在、エネルギーに関心がある市民団体の立ち上げを準備中。

